

【ご参考】

○復旧工事について

1. 地すべりの状況

南海電鉄および和歌山県が行った上古沢駅構内および周辺の現地調査の結果、線路を含む、幅約60m、斜距離約100m、深さ最大約23mにわたって地すべりが発生したことが判明しております。

2. 地すべり対策工事

和歌山県の支援を受け、のり面に2列のアンカー工を施工し、線路に近いのり面上部の地すべりを安定させました。



上古沢駅の線路全景(難波駅側から撮影)



アンカー工全景

運転再開後も、和歌山県が行う上古沢駅周辺の災害関連緊急地すべり対策事業に引き続き協力してまいります。

○台風21号による上古沢駅構内における線路故障の概要

1. 発見日時

平成29年10月23日(月) 6時30分ごろ

2. 場所

高野線 上古沢駅(和歌山県伊都郡九度山町大字上古沢) 構内

3. 原因

台風21号に伴う大雨によって発生した地すべりによるものです。

4. 発生当時の状況

10月23日6時30分ごろ、安全確認のため巡回中の係員が、上古沢駅構内の上り線分岐器付近の路盤(線路を支えている地盤)が下がっているのを発見しました。

以上